

# 静岡市の取り組みと カーボンニュートラルに貢献する ビジネスを考える会

～脱炭素に貢献する民間事業者の動き～

# 目次

---

- |   |            |
|---|------------|
| <b>1. 静岡市内企業の脱炭素の取り組み概要</b>   | <b>P3</b>  |
| <b>2. 具体的な取り組み事例</b>  | <b>P5</b>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 鈴与グループさま</li><li>● TOKAIグループさま</li><li>● 中部電力さま</li><li>● 静岡銀行さま</li><li>● 静岡鉄道さま</li><li>● 清水エスパルスさま</li></ul> |            |
| <b>3. ビジネス案検討の方向性</b>   | <b>P28</b> |
| <b>4. 昨年度ワークショップの事例</b>   | <b>P29</b> |

# 1. 静岡市内企業の脱炭素の取り組み概要

民間企業の脱炭素の取り組みについて、今回は「自社・地域の温室効果ガス排出を減少」と「新たなビジネス展開」の観点に大別してご紹介

## 自社・地域の排出減少

自社の企業活動（サプライチェーン）で消費されているエネルギーをどれだけ削減できるか

（例）

- 再生可能エネルギーの開発・自家消費の推進
- 脱酸素化されたエネルギーへの切替え

等

## 新たなビジネス展開

脱炭素の潮流によって発生した新たなニーズを満たすビジネスの開発（＝脱炭素の推進に貢献）

（例）

- 事業活動における温室効果ガス排出量の見える化サービス
- MaaSプロジェクトの推進による自家用車利用の削減

等

# (参考) 具体的な事例一覧

次頁以降に紹介する民間企業の取り組みの分類は以下の通り。

|       |                   | 排出削減  |      |       | 新たなビジネス展開 |      |      |     |      |    |       |    |      |
|-------|-------------------|-------|------|-------|-----------|------|------|-----|------|----|-------|----|------|
|       |                   | エネルギー | 移動物流 | 産官学連携 | エネルギー     | 移動物流 | 建築住宅 | 廃棄物 | 行動変容 | 農業 | 産官学連携 | 金融 | 食品ロス |
| 鈴与    | バイオジェット燃料         | ☆     | ☆    |       |           |      |      |     |      |    |       |    |      |
|       | 農業残渣を活用した発電       |       |      |       |           |      | ●    |     |      | ●  |       |    |      |
|       | 排出量可視化サービス        |       |      |       | ●         |      |      |     | ●    |    |       |    |      |
| TOKAI | カーボンニュートラルLNG     | ☆     |      |       | ●         |      |      |     |      |    |       |    |      |
|       | パルク               |       |      |       |           | ●    |      |     | ●    |    |       |    |      |
|       | オフィス空調制御          |       |      |       | ●         |      | ●    |     |      |    |       |    |      |
| 中部電力  | ゼロエミチャレンジ         |       |      |       | ●         |      |      |     | ●    |    |       |    |      |
|       | バイオ炭（農業）          |       |      |       |           |      |      |     |      | ●  |       |    |      |
|       | 工務店と連携したPV普及      |       |      |       | ●         |      | ●    |     |      |    |       |    |      |
| 静銀    | しずぎんソーラーパーク       | ☆     |      |       |           |      |      |     |      |    |       |    |      |
|       | ポジティブ・インパクトファイナンス |       |      |       |           |      |      |     |      |    |       | ●  |      |
| 静鉄    | 再エネ電力における電車運行     | ☆     | ☆    |       |           |      |      |     |      |    |       |    |      |
|       | しずおかMaaSの取り組み     |       |      |       |           | ●    |      |     |      |    | ●     |    |      |
| エスパルス | 静大提携カーボンプロジェクト    |       |      | ☆     |           |      |      |     |      |    |       |    |      |
|       | サステナブルグッズ         |       |      |       |           |      | ●    |     | ●    |    |       |    |      |
|       | フードドライブ           |       |      |       |           |      |      |     | ●    |    |       |    | ●    |

## 2. 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま

- TOKAIグループさま

- 中部電力さま

- 静岡銀行さま

- 静岡鉄道さま

- 清水エスパルスさま

## 定期旅客運送を行うエアライン初のユーグレナ社のバイオジェット燃料「サステオ」を使用したチャーター運航について～未来に繋がる、バイオジェット燃料 特別遊覧フライトを実施しました～ 2022年3月16日



ニュースリリース

2022年3月16日

鈴与商事株式会社  
株式会社フジドリームエアラインズ  
株式会社ユーグレナ

定期旅客運送を行うエアライン初の  
ユーグレナ社のバイオジェット燃料「サステオ」を使用したチャーター運航について  
～ 未来に繋がる、バイオジェット燃料 特別遊覧フライトを実施しました ～

鈴与商事株式会社（本社：静岡県静岡市清水区／本部：静岡県静岡市葵区／代表取締役社長：加藤 正博、以下、鈴与商事）、株式会社フジドリームエアラインズ（本社：静岡県静岡市清水区／代表取締役社長：橋瀬 俊一、以下、FDA）及び株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区／代表取締役社長：出雲 充、以下、ユーグレナ社）は、定期旅客運送を行うエアラインとして初めて、ユーグレナ社の製造・販売するバイオジェット燃料（以下「SAF」<sup>※1</sup>）「サステオ」<sup>※2</sup>を使用し、チャーター運航を実施したことをお知らせ致します。



2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが推進される中、鈴与グループで定期航空運送を担うFDAと、航空燃料の調達・供給を担う鈴与商事は、脱炭素社会・持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、2022年3月16日に、FDAのジェット旅客機（エンブラエル ERJ175）にユーグレナ社SAFを給油し、富士山静岡空港～県営名古屋空港（小牧）間にてチャーター運航を実施しました。なお、両空港におけるSAFを使用したジェット旅客機のフライトも初の試みとなります。

鈴与グループは、これまで脱炭素社会実現に向けた取り組みとして、ユーグレナ社の次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を導入しており、2021年7月に鈴与商事において自社の宅配水配送車両へ、2021年9月に鈴与グループで国内輸送事業を担う鈴与カーゴネット株式会社（本社：静岡県静岡市清水区、代表取締役社長：松山 典正）において異業種メーカー間で共同運行する車両へ軽油代替として給油し、トライアル運行を実施して参りました。今回のSAFの給油に使用した車両についても、次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」を使用しております。「サステオ」を次世代バイオディーゼル燃料及びSAFの両方で使用する事例は、鈴与グループが初めてとなります。

鈴与商事株式会社、株式会社フジドリームエアラインズは、定期旅客運送を行うエアラインとして初めて、ユーグレナ社の製造・販売するバイオジェット燃料「サステオ」を使用し、チャーター運航を実施したことをお知らせ致します。



## 鈴与グループ 2021年7月21日 鈴与商事のベルファーム、農業からビジネス拡大 農業のデジタル効率化と農業残さからの発電 2021年7月21日

### 日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース 日経会社情報

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・調査

#### 静岡・鈴与商事のベルファーム、農業からビジネス拡大 ふじのくに戦略拠点

読図 +フォローする

2020年7月21日 2:00 [有料会員限定]

保存

メール 共有 ツイート Facebook 共有

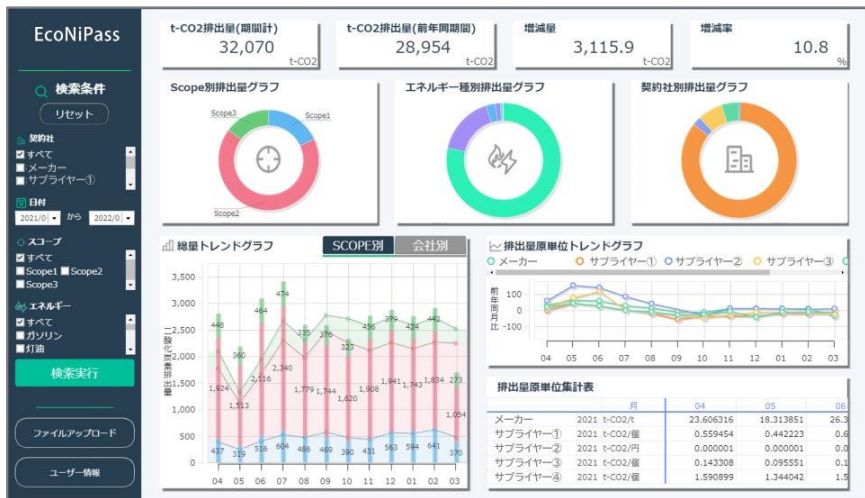
静岡県菊川市の高台にある20万平方メートルの広大な敷地に農業用ハウスが立ち並び、鈴与商事（静岡市）の関連会社であるベルファームだ。トマトを栽培する施設で昨夏、新たな試みが始まった。

自動車部品大手のデンソーが開発にかかわった次世代ハウス「プロファーム T-キューブ」を国内で初めて導入した。換気扇を設置し、室内の湿度や温度などに応じて気流を制御できる。窓で自然に換気する従来のハウスに比べて天候に左右されにくい。トマトの栽培に最適な環境を保てるため、「収穫量が劇的に増えるだろう」と岡田典久社長は期待する。

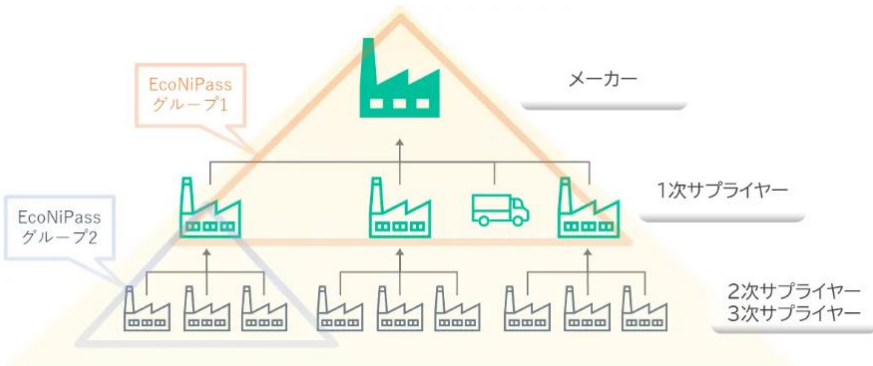
同社の設立は2010年。鈴与グループが既存のトマト栽培施設を購入して事業参入し、グループの食品大手、エスエスケイフーズ（静岡市）のもとで運営してきた。

設立後、静岡大学教授（当時）だった糠谷明氏の指導の下で赤く小ぶりな「あかのみトマト」を開発した。カリウム、窒素、カルシウムなどの養液の濃度を制御して糖度を一般的なトマトより高めたのが特徴だ。

## CO<sub>2</sub>排出量可視化プラットフォームサービス「EcoNiPass（エコニパス）」の提供開始について 2022年5月31日



「EcoNiPass」は、カーボンニュートラルの推進に取り組まれている企業（ご利用者様）、ならびに、そのサプライヤーのCO<sub>2</sub>排出量をクラウドサービス上で自動的に集計・可視化し、CO<sub>2</sub>排出量の現状把握と削減施策の検討を支援するサービスです。



※連携にはメーカー、サプライヤー双方の利用ならびに申込時の連携設定が必要となります。

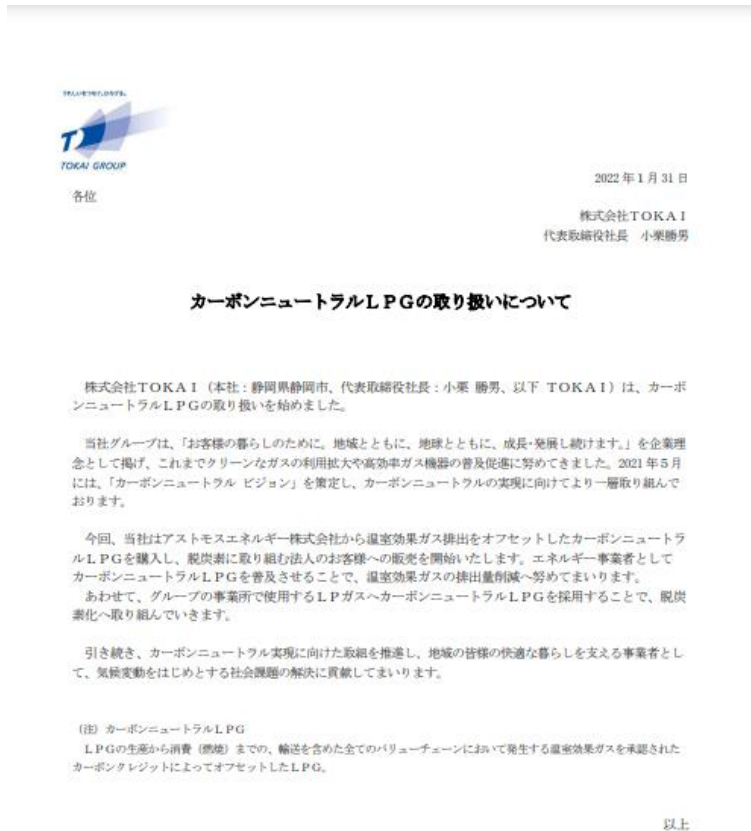


# 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま
- **TOKAIグループさま**
- 中部電力さま
- 静岡銀行さま
- 静岡鉄道さま
- 清水エスパルスさま

## カーボンニュートラルLPGの取り扱いについて 2022年1月31日



株式会社TOKAIは、カーボンニュートラルLPGの取り扱いを始めました。今回、当社はアストモスエネルギー株式会社から温室効果ガス排出をオフセットしたカーボンニュートラルLPGを購入し、脱炭素に取り組む法人のお客様への販売を開始いたします。エネルギー事業者としてカーボンニュートラルLPGを普及させることで、温室効果ガスの排出量削減へ努めてまいります。あわせて、グループの事業所で使用するLPガスへカーボンニュートラルLPGを採用することで、脱炭素化へ取り組んでいきます。

### 静岡県静岡市内におけるシェアサイクルサービス「PULCLE（パルクル）」提供開始のお知らせ 2021年6月8日

各位

2020年6月8日

静岡市  
株式会社TOKAI ケーブルネットワーク  
株式会社トコちゃんねる静岡  
OpenStreet 株式会社

#### 静岡県静岡市内におけるシェアサイクルサービス 『PULCLE（パルクル）』提供開始のお知らせ

静岡市（市長：田辺信宏）、株式会社TOKAI ケーブルネットワーク（本社：静岡県沼津市、代表取締役社長：鈴木光遠、以下「TOKAI ケーブルネットワーク」）、株式会社トコちゃんねる静岡（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：常木真次、以下「トコちゃんねる静岡」）、OpenStreet 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：横井晃、以下「OpenStreet」）は、本日より静岡県静岡市内にてシェアサイクルサービス『PULCLE（パルクル）』の提供を開始いたしました。

静岡市は、「世界水準の自転車都市“静岡”の実現」を基本理念とする「静岡市自転車利用計画」を2015年3月に策定し、市民が積極的に自転車を選択し、誰もが安全で快適に自転車を利用できるまちの実現を目指した取り組みを推進しています。

本計画に基づき、公共交通機関の補完及び利用促進、自動車交通の抑制、放置自転車の減少、回遊性向上による地域活性化などに資する新たな都市の交通システムとしてのシェアサイクルの普及を、静岡市が実施主体として民間事業者と連携して進めていくにあたり、企画提案審査（公募型プロポーザル方式）により、運営主体として TOKAI ケーブルネットワーク、トコちゃんねる静岡および OpenStreet が選ばれました。



## オフィスの空調をAIで制御する実証実験を実施 温度ムラの解消と約5割の消費エネルギー削減効果を確認 ～より快適なオフィス空間の提供を目指して～ 2021年1月19日



2021年1月19日

各位

東京建物株式会社  
株式会社TOKAIコミュニケーションズ  
株式会社内田洋行

オフィスの空調をAIで制御する実証実験を実施  
温度ムラの解消と約5割の消費エネルギー削減効果を確認

～より快適なオフィス空間の提供を目指して～

東京建物株式会社（以下、東京建物）、株式会社TOKAIコミュニケーションズ（以下、TOKAIコミュニケーションズ）、株式会社内田洋行（以下、内田洋行）は、東京建物八重洲ビル7階の東京建物ビル事業本部のオフィスフロア（以下、本フロア）にて、AIによる空調制御の実証実験を実施しました。今回の実証実験では、本フロアにおける温度ムラの解消と約5割の消費エネルギー削減を達成しています。

### ■実証実験の背景

個別空調を採用しているオフィスビルでは、ゾーンごとに空調機が設置され、それぞれの空調機が入りによって好みの温度に設定できるようになっています。しかし直近では、在宅勤務やテレワークの進展、フリーアドレス導入など、オフィスワーカーの働き方の多様性が広がり、ゾーンごとの滞在人数やパソコン等の稼働数などが日々異なります。そのため、個人による空調温度設定では、日々刻々と変化す

東京建物株式会社、株式会社TOKAIコミュニケーションズ、株式会社内田洋行は、東京建物八重洲ビル7階の東京建物ビル事業本部のオフィスフロア（にて、AIによる空調制御の実証実験を実施しました。今回の実証実験では、本フロアにおける温度ムラの解消と約5割の消費エネルギー削減を達成しています。

# 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま
- TOKAIグループさま
- **中部電力さま**
- 静岡銀行さま
- 静岡鉄道さま
- 清水エスパルスさま

名古屋市と中部電力ミライズによる「ゼロエミチャレンジなごやに関する連携協定」の締結～市民の皆さまとともに、再エネの普及拡大に向け、新たな取り組みを開始します～

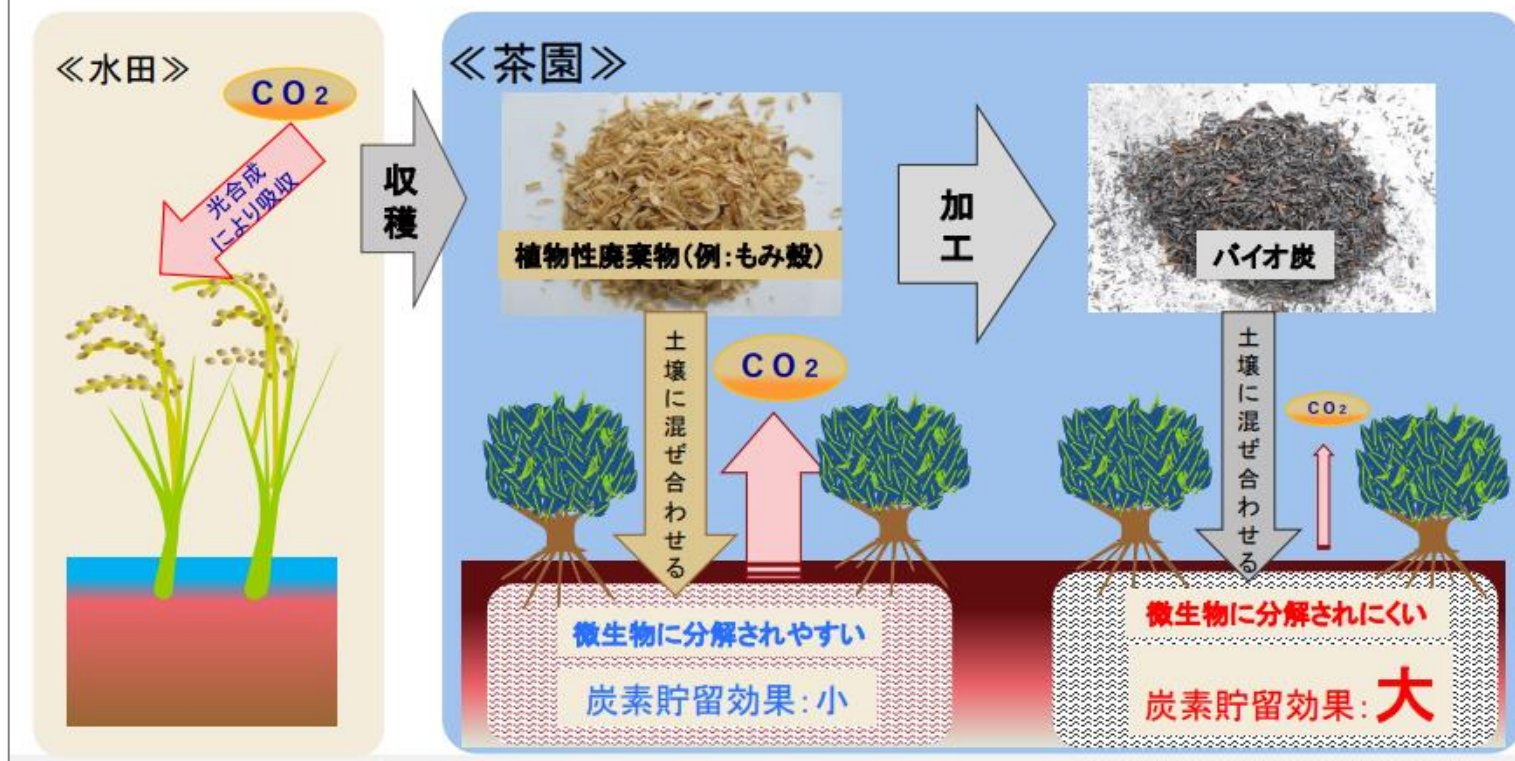
## 【実証事業の概要】

|    |  |
|----|--|
| 期間 | 2021年11月から2023年3月（17か月間）   |
| 対象 | 名古屋市の「住宅（等）の低炭素化促進補助金」を受けられた方であり、中部電力ミライズのお客さま   |
| 目的 | 再エネの効果的な利用及び普及拡大   |
| 効果 | 戸建住宅での電気の使用状況を操作することによる、電力の需要と供給のバランスを保つ仕組みの構築   |
| 内容 | ①行動誘因型（2021年11月～2022年3月、300名程度）<br>参加者自身が、家庭の電気機器（エアコン・照明・蓄電池・エコキュート等）を中部電力ミライズからの依頼に基づいて操作することにより、使用電力の調整（増・減）を行う<br><br>②自動機器制御型（2021年12月～2023年3月、100名程度）<br>参加者の保有する蓄電池の充放電を、中部電力ミライズが遠隔制御することにより、使用電力や再エネ余剰電力の調整（増・減）を行う |
| 特典 | 協力いただいた内容に応じてカテエネポイント <sup>(注3)</sup> を進呈  |

バイオ炭を活用した茶園土壌の炭素貯留に関する実証試験の開始～静岡のお茶畑で「CO2排出量の削減」と「茶葉の品質向上」の両立を目指します～ 2022年7月12日

## バイオ炭を活用した茶園土壌の炭素貯留の仕組み

植物性廃棄物を微生物に分解されにくいバイオ炭に加工することで、炭素貯留効果を高め、農地における二酸化炭素の排出量を削減することができます。



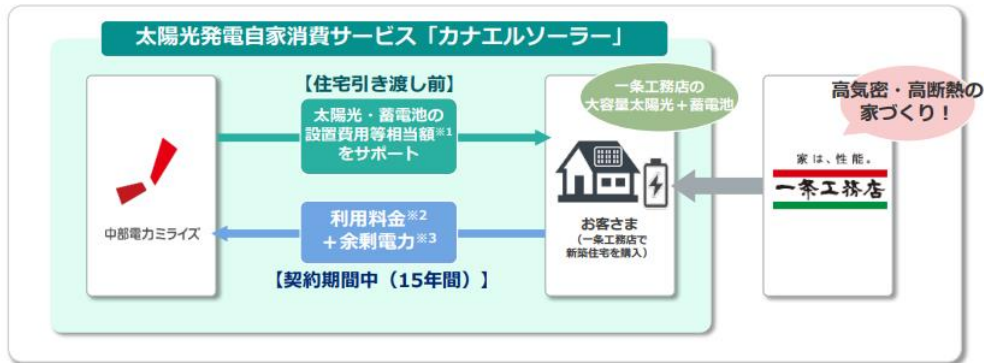


ご家庭向け「太陽光発電自家消費サービス」の提供開始 ～ 一条工務店で新築住宅購入のお客さまを対象に、太陽光設備と蓄電池の導入を支援します ～ 2022年1月17日

## サービスの概要



- ✓ お客さまの太陽光設備・蓄電池の設置費用等相当額を、当社よりお支払いします。
- ✓ お客さまからは、毎月、太陽光設備で発電した電気を“使った分だけ”お支払いいただきます。また、余剰電力を当社へお譲りいただきます。



※1 契約期間中にお客さまの太陽光設備から発電される電力を譲り受ける対価で、利用用途はお客さまの自由となります。  
※2 サービス利用料金は、基本料金と従量料金にて算定します。  
※3 契約期間中の余った電気の売電収入は、当社に帰属します。

当社は、本日より、株式会社一条工務店で新築住宅を購入されるお客さまを対象に、大容量太陽光発電システムと定置型蓄電池の設置等にかかる初期費用負担を軽減し、お客さま宅への導入を支援する「太陽光発電自家消費サービス『カナエルソーラー』」の提供を開始します。



# 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま
- TOKAIグループさま
- 中部電力さま
- **静岡銀行さま**
- 静岡鉄道さま
- 清水エスパルスさま

## 静岡銀行、中部電力ミライズ 「2030年度カーボンニュートラル達成」の目標設定および「しずぎんソーラーパーク」を設置 2022年5月20日



株式会社 静岡銀行  
〒420-8760 静岡市東区真保町1-10  
TEL:054-261-3131 FAX:054-344-0331  
https://www.shizuokabank.co.jp/

2022. 5. 20

### 「2030年度カーボンニュートラル達成」の目標設定 および 「しずぎんソーラーパーク」を設置

静岡銀行グループ（頭取 柴田 久）では、このたび、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させるため、「2030年度カーボンニュートラル（※1）達成」の目標を設定しました。

また、本取り組みの一環として、静岡市に100%再生可能エネルギーである太陽光発電所「しずぎんソーラーパーク」を新設することとしました。これは、中部電力グループとの「オフサイトコーポレートPPA（※2）」を活用し、追加性（再生可能エネルギーの新たな設備投資を促す効果）を有する再生可能エネルギーを導入するものとなります。

※1：温室効果ガス（GHG）の排出量をネットゼロ（排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。静岡銀行では、Scope1（直接排出量）とScope2（間接排出量）を対象とする。  
※2：「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略で、敷地外の遠隔地に設置された発電設備から電力を購入すること。

#### 1. 「2030年度カーボンニュートラル達成」の目標設定について

- これまで「静岡銀行グループ環境方針」のもと、2030年度における静岡銀行グループの温室効果ガス排出量削減目標を「2013年度比60%の削減」と定めて、環境負荷の低減に努めてきました。
- 今後、地域の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させるため、静岡銀行グループにおける温室効果ガス排出量のネットゼロをめざす「2030年度カーボンニュートラル達成」へと目標を引き上げました。
- 今後は、地域金融機関として迅速にカーボンニュートラルを進めさせるとともに、グループの総合金融サービスやコンサルティング業務を通じてお客さまの脱炭素化に向けた取り組みを支援するなど、地域とともに持続可能な社会の実現に積極的に貢献していきます。

#### 2. 「しずぎんソーラーパーク」について（2023年9月運用開始）

- （1）「オフサイトコーポレートPPA」協定  
・締結日/5月20日（金）  
・締結者/中部電力ミライズ㈱
- （2）年間発電量/約2,900,000kWh/年（パネル出力1,995kW）
- （3）設置場所/静岡市清水区三保地内
- （4）設置者/中部電力㈱
- （5）敷地面積/約23,000平方メートル
- （6）想定GHG排出削減量/年間1,100トン程度



#### <参考>静岡銀行グループにおける脱炭素化に向けた対応

- 2020年に気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「TCFD提言」に賛同し、気候変動シナリオ分析を進めるとともに、地域の持続的成長に向けて、グループ一体となって環境などの社会問題に取り組んでいます。
- 2021年には、「しずぎん本館タワー」ならびに「研修センター」で使用する電力に、再生可能エネルギー由来のGHG排出量ゼロの電気である「静岡Greenでんき」を導入しており、年間1,800トン程度のGHG排出量を削減しています。

SHIZU-GIN

静岡銀行グループでは、このたび、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速させるため、「2030年度カーボンニュートラル達成」の目標を設定しました。

また、本取り組みの一環として、静岡市に100%再生可能エネルギーである太陽光発電所「しずぎんソーラーパーク」を新設することとしました。

これは、中部電力グループとの「オフサイトコーポレートPPA」を活用し、追加性（再生可能エネルギーの新たな設備投資を促す効果）を有する再生可能エネルギーを導入するものとなります。

## 国内初！社会医療法人に対する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結 2022年6月30日



### NEWS RELEASE

株式会社 静岡銀行  
〒420-8760 静岡市東区河原町1-1-10  
TEL:054-261-3131 FAX:054-344-0131  
https://www.shizuokabank.co.jp/

2022. 6. 30

#### 国内初！社会医療法人に対する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

静岡銀行(頭取 柴田 久)では、SDGs への取り組みの一環として、社会医療法人 志仁会(理事長 関仲二)と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」契約を締結しましたので、その概要をご案内します。  
なお、社会医療法人に対する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約は、国内初の事例になります。  
※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資

1. 契約日 6月30日(木)
2. 融資金額 3億4百万円
3. 資金使途 設備資金
4. (図)志仁会の取り組みについて(詳細は「評価書」をご参照ください)
  - 志仁会は、三島市内で「三島中央病院」と「介護老人保健施設 ラ・サンタムよう」を、沼津市内で「耳鼻科サイタクリニック」を運営し、地域の医師と連携を図りながら、地域に密着した医療・介護サービスを提供しています。
  - 本年4月には、静岡県から社会医療法人の認定を受け、より公益性の高い病院として、地域医療を支える重要な役割を果たしています。
  - 今回、同社の企業活動が社会・環境・経済に与えるインパクトを、以下のとおり評価しました。

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 環境面    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー化(エネルギー使用効率の高い「コジェネレーションシステム」の導入、防水・遮熱効果のある屋上塗装による空調効率の改善、空調温度設定の徹底、LED化)</li> </ul>   | <br>     |
| 社会面    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない医療・介護サービスの提供(急性期から慢性期までの医療の提供、往診や訪問看護の実施など)</li> <li>・人材育成(研修や勉強会の充実、学会への参加支援、看護士の専門資格の取得支援、奨学金制度、学生の実習受け入れ)</li> </ul>   | <br>    |
| 社会・経済面 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療体制の整備(初期救急医療&lt;軽症患者&gt;から、指定病院として第二次救急医療&lt;手術や入院が必要な重症患者&gt;までに対応)</li> <li>・地域との連携体制の構築(地域連携室の設置・運用、夜間救急における三島医師会との協同診療体制の構築など)</li> <li>・就労環境の改善、働き方改革の推進</li> </ul> | <br> |

5. その他
  - (1)インバ外部評価/国連環境計画金融イニシアティブが提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびポジティブ・インパクトファイナンスタスクフォースが提唱した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に基づき、一般財団法人静岡経済研究所が㈱日本格付研究所の協力を得て評価を実施
  - (2)モニタリング体制/一般財団法人静岡経済研究所とともに「ポジティブ・インパクト金融原則」に従い構築した内部管理体制のもと、インパクト評価で特定したKPIについて、融資期間中における借入人のインパクトパフォーマンスのモニタリングを実施

# SHIZU-GIN

静岡銀行では、SDGs への取り組みの一環として、社会医療法人 志仁会と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」契約を締結しましたので、その概要をご案内します。

なお、社会医療法人に対する「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約は、国内初の事例になります。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資

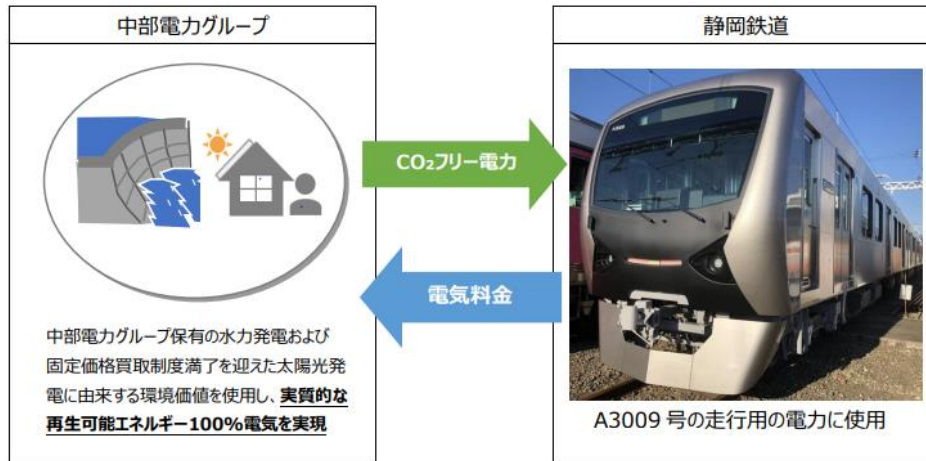
# 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま
- TOKAIグループさま
- 中部電力さま
- 静岡銀行さま
- **静岡鉄道さま**
- 清水エスパルスさま

## 静岡県内初！再生可能エネルギー100%で運行 ～ 静鉄電車 新型車両運行開始および引退車両ラストランのお知らせ 2021年2月10日

再生可能エネルギー100%による電力需給のイメージ【対象車両：A3009号】



静岡鉄道株式会社は、2016年より順次導入しております新型車両A3000形の第9号目車両（A3009号）、第10号目車両（A3010号）の運行を3月6日（土）に開始いたします。今回運行を開始する2編成の内、A3009号は、中部電力ミライズ(株)のご協力により、静岡県内の鉄道会社で初めて、水力および太陽光等に由来する環境価値を活用することで、**実質的に再生可能エネルギー100%**とした電気による運行を実施します。

## しずおかMaaS（静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト）

しずおかMaaS（静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト）は、人口減少や高齢化社会が進行する中、ICT・AI等の最新技術を取り入れ、誰もが利用しやすい新たな移動サービスの提供と、これを活かした持続可能なまちづくりを目指して、2019年5月27日に発足した地域密着型の官民連携コンソーシアムです。



## 2. しずおかMaaSの基本理念

誰もが利用しやすい新たな移動サービスの提供と持続可能なまちづくりを実現するために、わたしたちは5つの基本理念を掲げました。

- 01 官民連携によるSDGs11「住み続けられるまちづくりを」の推進
- 02 新たな移動サービスを構築し、過度に自家用車に頼らなくても安全・安心・快適に移動できる社会の実現
- 03 年齢・性別・居住地等を問わず、全ての人にとって使いやすいユニバーサルサービスの実現
- 04 ICT・AI等の最新技術や各種データの利活用による地域経済の好循環や生産性向上の実現
- 05 静岡型MaaSの実現に向け、行政及び地域団体並びに市内外の民間企業等が相互理解に基づき、組織・分野の垣根を越えて協力するオープンイノベーションの推進



# 具体的な取り組み事例

---

- 鈴与グループさま
- TOKAIグループさま
- 中部電力さま
- 静岡銀行さま
- 静岡鉄道さま
- **清水エスパルスさま**

## 【静岡大学との連携によるゼロカーボン・プロジェクト】について

2022年7月4日





## 「エスパルス サステナブルグッズ」新発売のお知らせ

2022年4月8日

再生紙の紙管でできたエコ商品の「紙ペン」



環境と人にやさしい紙の新素材サイン帳



再生ポリエステル100%の環境配慮型Tシャツ

<https://www.s-pulse.co.jp/news/detail/49436>

エスパルスは、クラブ自らが率先して取り組むゼロカーボン推進活動の一環として、地球環境にやさしい再生素材や地域資源を活かした「エスパルス サステナブルグッズ」を順次展開してまいりますので、下記の通りお知らせいたします。

エスパルスは2021年11月に日本のプロスポーツクラブとして初めて、「ゼロカーボンプロスポーツクラブ宣言」を表明しました。これまでクラブが継続的に取り組んできた「エスパルス エコチャレンジ」のさらなる充実を目指し、SDGs推進クラブとしてスポーツの力で持続可能な社会の実現に向け、地域とともに力強く歩みを進めてまいります。

- 11月20日(土) 広島戦 『エスパルスエコチャレンジto2050ブース～CHALLENGE with SUPPORTER～』 実施のお知らせ 2021年11月20日



エスパルスは11月20日（土）明治安田生命J1リーグ 第36節 サンフレッチェ広島戦にて、静岡サレジオ高等学校と連携し、プレミアムパートナーの春日製紙工業株式会社様にサポートいただき『エスパルスエコチャレンジto2050ブース～CHALLENGE with SUPPORTER～』を実施しますのでお知らせします。

## フードドライブの実施 協力：静岡市 ごみ減量推進課

フードドライブで回収している食品はこちらです。  
回収していない食品もありますのでご注意ください。

### 回収している食品

- 賞味期限が2か月以上のもの
- 常温保存できて未開封のもの
- 穀類 ※もち米除く
- 缶詰
- インスタント、レトルト食品
- お菓子
- 乾物
- 飲料

### 回収していない食品

- 賞味期限が2か月をきっているもの
- 開封されているもの
- 冷凍、冷蔵のもの
- 生鮮食品
- 砂糖、塩 ・もち米
- アルコール（みりん・料理酒含む）
- ペットフード
- 介護用食品・健康食品
- 防虫用保存水

### フードドライブの流れ



「もったいない」を「ありがとう」にかえる取組です。

本ブースでは気軽に参加いただけるエコ活動を通じ、ゼロカーボンや環境問題解決に向け、クラブがサポーターの皆様と共に一歩を踏み出すことを目指します。

---

# ビジネス案検討のイメージ

# ビジネス案検討の方向性（イメージ）

自社の事業と地域課題を掛け合わせビジネスを創出し、それを静岡市が支援することにより、市内CO2減少、地域の魅力向上の実現を目指したい。

お客さま

価値提供

対価

ビジネス開発

自社



地域課題

支援

時には・・・

他社

静岡市

◆市内CO2排出量  
= 減少

◆地域の魅力  
= 向上

“持続可能な”ビジネス創出と地域の形成へ

# 2021年WSでのアウトプット

2021年度に開催したワークショップでは、最終的に以下4つの事業案を静岡市に提言しました。

| 分類    | 内容   |
|-------|--|
| モビリティ | 静岡市のゼロカーボンに資する営業車のライドシェアサービス               |
| 森林    | 市営温泉施設の木質バイオマスボイラー転換と、森林整備・放置竹林の課題解決の掛け合わせ |
| 住宅    | 家庭用PV-PPAの導入と余剰電力の有効活用による系統電力使用の削減         |
| 脱炭素電源 | 耕作放棄地を活用したソーラーシェアリングによる農業の再興支援             |